

静岡市立北部図書館における 英語多読を通した生涯学習支援



キーワード: 英語多読、生涯学習、公立図書館、読書会

○活動に取り組んだきっかけ・背景

人生100年時代を迎え、幅広い年代に適応可能な柔軟さを持ち合わせている英語多読は、今生涯学習としてその重要性が注目されている。活動の発端は、静岡市立北部図書館からの直接の選書依頼が平成26年10月にあったことがきっかけである。それ以来、公立図書館を通して英語多読を行う皆さんに、講演やサークルのアドバイザーとして支援を継続している。



○活動の目的

生涯学習としての多読を継続することは容易ではない。継続の秘訣は、適切な選書はもちろんであるが、ともに同じ目的をもつ仲間を見つけることが何よりも大切である。このため、英語多読に取り組むための基本的な知識や選書の要点などを、多読講演会を通して紹介している。また、多読人口の増加に伴い、仲間をつなぐ場所としての多読サークルを立ち上げ、参加者の皆さんへの多読の助言を行っている。

○具体的な内容

北部図書館では毎年、多読入門講座を開催しており、そこではまず①多読とはどんな学習方法か(多読3原則の説明)、②外国語の学習には目標言語の多量のインプットが必要であり、それが現在の日本の英語教育で絶対的に不足しており、そのために多読が必要であるということ、③多読を進めていくための手順と選書のポイント等を解説している。また、北部図書館で多読に取り組む人々をつなぐ場として「多読サークル」を立ち上げ、読んだ本の読後感や多読の問題点を共有し、それに対する助言を行っている。さらに、新刊図書の紹介や、読書に関する情報を提供するよう努めている。



○期待される効果など

北部図書館の英語多読ライブラリーは、徐々に充実してきている。毎年英語多読のための選書を行っており、多読に取り組んでいる人たちが常に新しい本と出合うことができ、興味を失うことなく楽しんで多読の活動に励んでいる。既に200万語を読了した方たちも現れ、近年はサークルの参加者も静岡市から徐々に広がりつつある。サークルの人たちが読了した良書を貸借しあう場面も見受けられ、相互の交流も充実してきている。まさに、生涯学習としての英語多読が一歩一歩着実に成長してきていることを実感することができる。

教員名 良知恵美子

所属学部・学科 外国語学部英米語学科

職位 教授



連携先

静岡市立北部図書館

多読サークル